

科目名	教育原理			ナンバリング	EDU133	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	前期集中	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	石川哲夫	担当教員	寺下 明				

授業の概要	教育原理の内容としての基本的・基礎的な知識の習得と教職への意欲を高めることをねらいとして講義する。学校を中心とした教育制度と経営に関する状況・課題をは握し、我が国の教育制度の基本的枠組みと教育改革の動向を理解できるようにする。また、社会的環境の変化と学校の抱える今日的課題について思考を深めるとともに、生涯学習社会の理念と教育行政の課題について理解できるようにする。授業形態は講義及び主体的・対話的で深い学びを標榜したグループ協議・発表等を実施する。						
到達目標	1. 教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解することができる。 2. 教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解することができる。 3. 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	「教育とは何か」という大きな問題に、広く深く取り組めるよう、授業で扱われるキーとなる言葉について、確実に整理すること。この授業を通して、空間的な拡がり、時間的な拡がりの中で、自分の経験を主体化し、同時に客体化しながら、偏見から自らを解放し、教育とは何かを受講者相互に考える姿勢を身につけること。						
ディプロマポリシーとの関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 教育の基本的概念及び教育を成り立たせる諸要因について理解することができる。 2. 教育の歴史に関する基礎的知識を身に付けることができる。 3. 教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを概ね理解することができる。	1. 教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解できる。 2. 家族と社会による教育の歴史を理解することができる。近代教育制度の成立と展開及び現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解できる。 3. 家庭や子供に関わる教育の思想を理解し、学校や学習に関わる教育の思想を理解することができる。また、代表的な教育家の思想を理解できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
意見交換・グループワーキング			○	○	○		40%
小テスト・授業内レポート	○	○					40%
宿題・授業外レポート	○						20%
出席			○	○			出席は加算対象とならず、欠席は減点対象

課題、評価のフィードバック	1. テーマについて主体的に関わり互いに議論を交わし、学習内容について学修を修正し深めていく。 2. 各時限のそれぞれの講義のレジュメを基にリフレクションペーパーに授業考察・疑問・質問項目を書き入れ、次時にフィードバックし、予習・復習に役立てる。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	「教育原理」の概要(はじめに) [寺下]	「教育原理」学修の目的と授業設計(教育とは何か)等、講義概要や本講義の目的について説明をする。	
	第2回	教育とは何か-教えることと学ぶこと 働くこと [寺下]	教育の意義と目的:「教育」の意味と教育の目的(人間とは何か、ヒトから人間へ)について解説する。	
	第3回	教育への権利 [寺下]	教育への権利:制度上の規定、教育の変遷との関連(「日本国憲法」「教育基本法」「子どもの権利条約」)について解説する。	
	第4回	教育の役割と子どもの社会化 [寺下]	教育の役割と子どもの社会化:人間形成と学校・家庭・地域社会との関連性(人格形成の基盤、学校教育・家庭教育・社会教育)について解説する。	
	第5回	教育の思想と歴史的変遷(1) [寺下]	教育の思想と歴史的変遷(1):諸外国の教育思想史<コメニウス,ロック,ルソー,ペスタロッチ>について解説する。	
	第6回	教育の思想と歴史的変遷(2) [寺下]	教育の思想と歴史的変遷(2)::諸外国の教育思想史<フレーベル,デューイ,モンテッソーリなど>について解説する。	
	第7回	教育の思想と歴史的変遷(3) [寺下]	教育の思想と歴史的変遷(3):日本の教育思想史<貝原益軒,森有礼,福澤諭吉,倉橋惣三など>について解説する。	
	第8回	教育の思想と歴史的変遷(4) [寺下]	教育の思想と歴史的変遷(4):子ども観と教育観の変遷<子ども期の発見、子ども中心主義など>について解説する。	
	第9回	教育計画・諸制度、学力対策 [石川]	日本の教育計画、教育の制度:学校制度の成立と発展<学校教育体系>について解説する。	
	第10回	教育内容と教育課程 [石川]	教育内容と教育課程:教育内容の構成,教育課程と計画<顕在的・潜在的カリキュラム>について解説する。	
	第11回	教育の実践 [石川]	教育の実践:教育方法:教育評価,教育実践の多様な取り組みについて解説を行い、その後、グループ討議を行い、受講者相互の内容理解を深める。	
	第12回	教師の仕事、指導計画の意義 [石川]	教員養成、教師の仕事、学習指導計画の意義と実践概要について解説する。	
	第13回	現代社会と教育課題(1) [石川]	現代社会と教育課題(1):教育の病理<問題行動、不登校、いじめ>について解説を行い、その後、グループ討議を行い、受講者相互の内容理解を深める。	
	第14回	現代社会と教育課題(2) [石川]	現代社会と教育課題(2):学校における体罰や不祥事等、教職員に関する様々な教育課題概要にについて解説を行い、その後グループ討議を行い教育課題について考察しまとめる。	
	第15回	授業のまとめ [石川]	これまでの学修内容についてキーワードを中心に振り返り、授業のまとめを行う。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。授業回後半はテーマについてグループ協同学修形態体験を取り入れる。		
授業外学習の指示		配付資料を中心に講義の内容を復習する。不明な点は必ず教科所等で確認するか教員に質問すること。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	やさしい教育原理／田嶋一・中野新之祐・福田須美子・狩野浩二著／有斐閣アルマ、文科省発行中学校・高等学校学習指導要領、文科省発行生徒指導提要
参考書	授業中に適宜資料を配付する。
参考URLなど	
その他	この授業は、全ての教職課程科目のベースとなる内容である。できるだけ欠席を避けること。